

今回のおはなし

「世界禁煙デー」

「在宅における薬の管理」



世界禁煙デー

新型コロナウイルス感染症と喫煙について

新型コロナウイルス感染症の重症化リスクと喫煙との関連性について、WHOのステートメントによれば、WHOが2020年4月29日に招集した専門家によるレビューにおいて、喫煙者は非喫煙者と比較して、新型コロナウイルスへの感染で重症となる可能性が高いことが明らかになった事などが報告されています。

また、中国の入院患者において、喫煙者あるいは過去に喫煙していた人は、非喫煙者に比べ、新型コロナウイルスに感染した場合の重症化リスクが約1.7倍、集中治療室(ICU)への入室や人工呼吸器による管理、死亡のいずれかの状態に陥るリスクが約2.9倍であったという報告があります(ただし、このデータは、年齢や持病の有無など重症化に関わる他の要素は考慮していません)。

喫煙は、肺炎やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)を引き起こす原因となります。これを機会に禁煙をスタートさせてみてはいかがでしょうか。

喫煙習慣の本質はニコチン依存症という『病気』です。たばこを吸うことによってイライラがなくなると感じるのは、喫煙によってニコチンが供給され、ニコチンによる禁断症状が解消されるためです。禁煙治療薬を活用することで、ニコチン依存症による禁断症状を抑えつつ上手に禁煙することができます。

喫煙は新型コロナウイルス感染症重症化の最大のリスクです。また喫煙室での濃厚接触は感染のリスクになります。ぜひ、この機会に、やめたいと思っている方!薬剤師に相談してみてください。



加熱式タバコや電子タバコは、大丈夫と思っていないですか?!

加熱式たばこや電子たばこは、タバコ葉を加熱することにより、煙ではなく水蒸気を発生させます。発生した**ニコチンを含む**エアロゾルを煙として吸うものです。加熱式タバコも紙巻きタバコと同じ有害なものであることに変わりありません。

在宅における薬の管理でお困りのことはないですか？

いろいろな病院から薬をもらっているのに、薬がゴチャゴチャになってしまい、困っている！



- ① 一包化や服薬カレンダーやお薬箱を使って、薬の管理をお手伝いします。
- ② 残薬状況を確認し、かなり余っている薬について医師へ相談します。
- ③ 食事や排泄、睡眠などを通じて体調を把握したうえで、薬の効果や影響を確認します。
- ④ 何に効くかわからないで飲んでいる不安な方には、わかりやすく説明して、飲む必要性を理解してもらいます。

※一包化には、医師の指示が必要となります。

※お薬によっては、一包化に適していない又はできない場合があります。



体が不自由で薬局に行けない！

薬の廃棄で困った時は、薬剤師にご相談下さい。



かかりつけ薬剤師は、ご自宅に訪問して健康や薬の相談にのったり、薬局が開いていない時間帯もご相談頂ける体制を整えています。負担によって20～100円プラスになります。

薬が飲みにくい、飲みにくくなってきた！



粉末状の薬や口の中で溶ける崩壊錠（OD錠）に変更してもらったり、医師に相談して他の薬への変更を検討します。

また、嚥下困難な患者さんに、ゼリー食をお勧めしたりします。



日本薬剤師会によると在宅の75歳以上の高齢者だけでも残薬は年間およそ475億円分になると推計されています。

お知らせ

浦安市薬剤師会会員薬局や浦安市薬剤師会在宅支援薬剤師、浦安市内在宅対応薬局一覧をホームページで紹介しております。

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>

メールアドレス toiawase@urayaku.jp